

【巻頭言】

2015 年 学友会総会開催に向けて

総会実行委員長 皿谷 弘樹(短大 2 回生)

先程、世界で最も影響力をもつ旅行雑誌のひとつ、「Travel + Leisure(トラベル・アンド・レジャー)」誌が行った読者投票「ワールドベストアワード 2014」において、世界の人気都市を決める「ワールドベストシティ」ランキングで、京都が 1 位に選ばれました。

風景・旧跡から文化・芸術、レストラン・食べ物、人、価値の五つの採点項目でバランスよく評価が高かったことが受賞の要因です。京都居住者、京都勤務者、京都母校など京都に由縁がある人にとっては大変感慨深いこととなりました。

その京都の地で、2015 年 5 月 30 日(土)に学友会総会開催が決定しました。会場には京都ホテルオークラを予約しています。母校が謝恩会や祝賀会で利用しており意外ななじみがあり「ミシュランガイド京都・大阪」のホテル部門において、京都で最高の評価“4 赤パピリオン(最上級の快適さ)”を受賞している 120 年の伝統あるホテルです。学生時代に思い出のある加茂川や木屋町、二次会ができる先斗町や祇園は歩いてすぐのところにあります。また東山三十六峰の美しい眺望をご堪能いただけるロケーションでもあります。

現時点ではこの会場と日時ぐらいしか決定していませんが、企画内容やタイムスケジュールが決まり次第、学友だよりで逐次お知らせいたします。多くの会員が参加できるような総会にするべく、学友会理事と会員の皆様のお力を借りながら準備を進めてまいりたいと思います。

開学 85 年を迎えた 1 昨年に、平成元年から平成 23 年まで続いた短期大学は、記念祝賀会をもって大学にバトンを渡し歴史の幕を閉じましたが、その 22 年の間には 1,426 名もの卒業生を輩出しました。レ専校・専門学校学友会員は約 1900 名であることから、短大卒業生の占める比率は 40%を超えていることとなります。卒後 20 年が経過している場合、勤務先で役職に就く会員も決して少なくありません。このように勤務先では短大生会員が主流になりつつあるのに、こと学友会の活動になると傍流であり、レ専校・専門学校学友会員に“お任せ”状態が続いています。

神澤学友会会長はその状況を憂慮されたのか、来年度の総会は、青木彰氏(短大 1 回生)と黒田大悟氏(短大 3 回生)の二人を合わせた短大卒業組だけを実行委員に指名されました。偶然にも 23 年前に学生自治会役員をさせていただいていた時と同じ顔ぶれです。離れた勤務地、異なるライフスタイルを歩んできたにもかかわらず学友会で繋がる縁を不思議に感じているところです。

あらゆるモノ、コトの“つながり”を意味するのがネットワークです。たった 1 本の送電線に始まり、電話やインターネット、交通網など社会インフラ、企業が国境を越えてビジネスをするための ICT システムまで、世の中には無数の繋がりが存在し日々ダイナミックに動いています。これらのネットワークは、エネルギー、情報通信、ビジネスなどの分野において現在の社会基盤を支えています。

我々、卒業生には 87 年もの年月をかけて全国に繋いだ学友会という強固なネットワークがあります。このネットワークを活かして個々のもっている知識や技術の共有化を図り、各々のポジションで社会基盤を支えていくことが重要なのではないのでしょうか。

情報化が進み、携帯やタブレットで欲しい情報を簡易に手に入れることができるようになりました。今の時代はこのようなツールや、他人の方から自分のために何かをしてくれるものと、期待する人が多数を占めているようです。しかし実際には自分から行動を起こして、五感と心で体験することでしか学べない、多くのことがあるのも事実です。

これから起こる何かを面倒と考え無関心を装うより、例えば“学友会の総会に参加する”という行動を起こすことで得られる新しい発見を、お互いに掴み取っていきましょう。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては、今から来年の予定をご検討いただき、是非とも多数ご参加いただけることをお待ちしております。

以上

